

【坂出市】 校務DX計画

1. 校務DXを推進する上での現状と課題

現在、市内小中学校において、「校務系」と「学習系」で別のネットワークを構築しており、それぞれの環境下で利用する端末を運用している。

当市では教職員の働き方において、クラウドツールの活用を進めているが、職員会議や職員への周知など、校内における連絡等のデジタル化において課題が残っている。その課題を解決し、教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、学校・市情報管理担当・関係業者と連携を図りながら、校務系・学習系ネットワークの統合に向けた調査研究を進める。

2. 校務DXを推進するための課題解決策

校務にかかる各種帳票のデジタル化によって、教職員の負担軽減を図ることを目的として、令和3年度に導入した統合型校務支援システムのさらなる活用を図るとともに、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因となっているFAXでのやり取りや押印の見直しを進める。

また、タブレット端末を活用し、クラウドツールを介した教職員と児童生徒間におけるコミュニケーションの迅速化や活性化を図る。

3. 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）をめざし、必要な環境整備について今後、県内の市町教育委員会等とも連携しながら、検討を深める。